

大腸癌研究会 アンケート集計結果

～ 大腸癌治療ガイドラインの解説 ～

北里大学
群馬県がんセンター
国立がんセンター中央病院
東京医科歯科大学
東京女子医科大学
栃木県がんセンター
都立駒込病院
広島大学
防衛医科大学
三重大学

334 / 345例
(96.8%)

男 性: 167 例
女 性: 167 例
年 齢: 21 ~ 81歳
平 均 49.3歳



1. 回答者背景

大腸癌患者	151例 (45.2%)
非大腸癌患者	182例 (54.5%)
無回答	1例 (0.3%)

2. 家族背景

大腸癌罹患家族 84家族 97例 複数回答あり

内訳	父・母	35例
	兄弟姉妹	18例
	祖父・祖母	15例
	おじ・おば	14例
	配偶者	9例
	いとこ	6例
	子供	0例

講読内容について (回答率:98.2%)

ほぼ全内容	267例 (80.4%)
必要部分のみ	61例 (18.6%)

項目別講読内容

1.基礎知識 (11質問)	232例 (69.5%)
2.解説 (10質問)	198例 (59.3%)
3.Q & A (21質問)	193例 (57.8%)

アンケート方法

「大腸癌治療ガイドラインの解説」の各項目における理解度について、
「よくわかった」
「わかった」
「少しわかった」
「わからなかった」 の選択枝より回答。

さらに、各項目内容について、記述式で回答。

総合的理解度 (回答率:95.5%)

	よくわかった	わかった	少しわかった	わからなかった
	36.7%	46.1%	16.0%	1.3%

大項目別理解度

	よくわかった	わかった	少しわかった	わからなかった
基礎知識 (回答率:98.0%)	36.5%	44.9%	17.6%	1.0%
解説 (回答率:92.6%)	29.8%	45.0%	23.1%	2.1%
Q & A (回答率:94.5%)	32.7%	47.8%	17.9%	1.6%
全項目平均 (回答率:95.0%)	33.0%	46.3%	19.1%	1.6%

1 一般的な内容について

- ・写真、イラスト、図表が効果的に使われ説明文も分かりやすく理解できた
- ・実際に治療を受ける上で、役に立った
- ・略語・専門用語・読めない漢字が多くて難しかった
- ・図がわかりにくい、イメージがつかめない
- ・難しい専門用語に、ふりがなや解説をつけてほしい
- ・診断・治療・サーベイランス等のタイムスケジュールや治療費について知りたい

2 Q&Aについて

- ・内容が分かり易い。理解しやすかった
- ・Q&Aを読んであらためて本文を読むと分かりやすかった
- ・入院、手術、化学療法に要する費用の目安がQ&Aにあると良い
- ・Q15以外に「日常生活の注意点」があれば良いと感じた。
(手術後の排便機能のトラブルについての具体的な内容や
性生活のことなど、直接医師に聞きづらいことを入れた方が良いと思う)
- ・図やイラストを増やしたほうが読みやすい
- ・リンパ節転移の評価方法を教えてほしい

まとめ

- ・80%以上(「よくわかった」「わかった」を合わせて)、理解が得られた項目は、45.2%(19 / 42項目)、70%以上は、97.6% (41 / 42項目)であった
- ・専門用語は、ふりがなや小解説をつける要望が多く、これらを改善することで、より読みやすいガイドラインになるという意見が多かった
- ・理解が最も難しい項目は、「緩和医療」(68.7%)で、内容の充実・改善を求める声が、多かった
- ・全体として、内容の説明だけでなく、個々の治療法の成績、最新の学術的情報(PET-CT、新規抗癌剤など)を要望する声が多かった